

第48期モットー

「めざせ 日本一！」 — 心と力を合わせよう —

「幸せを願って」

NO.256

H27. 10. 6(火)
(株) ユ キ
ダスキン新居浜支店
社長 小野 正師

「過去を学び、次代へ繋げる」

合掌 いつもありがとうございます。

ここ四国・新居浜もすっかり秋めいて、朝晩は寒くなってきました。北海道では雪も降ったようで、北から南まで日本全国季節の変わり目には体調管理に気を付けてください。

さて、10月14日(水)には運営委員会の皆さんと共に、来年10月7(金)8(土)開催予定の鹿児島・城山観光ホテルの下見と打合せに行っていました。このホテルは、地元鹿児島エリア会長、野崎社長さん(D 伊集院)からご推薦頂いた通り、格式高く重厚な雰囲気と一流ホテルとしての気品を兼ね備えた見事な施設でした。高台にあるホテルからの眺望は、鹿児島のシンボル桜島と錦江湾が爽やかな秋晴れの中、素晴らしく映えていました。早朝の展望露天風呂では、ちょうど桜島の右肩からまぶしく輝く朝日が上がり、1年後の大会開催を祝して頂けたようで嬉しくなりました。北の札幌に続き、本州最南端の鹿児島での開催に皆さまご期待ください。

次に10月23日(金)、佐藤芳直先生とのご縁で、今回はお二方の素晴らしいご講演をお聞きする機会に恵まれました。

まずは、上智大学名誉教授の渡部昇一先生です。専門は英語学・言語学の大家ですが、近年は日本の近現代史を中心に日本人としてのあるべき姿や正しい歴史観を分かり易く説いた著書が数多く出版されています。慰安婦問題では、朝日新聞と吉田事件の関連について詳しく説明され、東京裁判後の米上院軍事委員会での「あの戦争は日本の自衛のための戦争であった」とのマッカーサー発言なども分かり易く話されていました。

渡部昇一先生と言えば、40年近く前に私が松山商大夜間部(短期大学部)にダスキンの加盟店業務をしながら90分程駆け毎日通っていた時に、ゼミの先生が「知的生活の方法」という新書の紹介と「著者の渡部昇一さんは現代の夏目漱石だ」と、話されていたことを妙に覚えています。本の内容はすっかり忘れてしまいましたが、確か著者の夢は読書が大好きで、読み終えた本を並べてベッドにして、そこに寝るのが夢なんだと書いてあったのが印象に残っています。因みに、渡部先生の蔵書は14万冊を超え、ベッドどころか専用の書庫が建てられたそうです。その影響か、私も読書好きになれたようです。

もうお一方は、作家の門田隆将氏です。近著では、「慟哭の海峡」(角川書店)が有名ですが、私も講演前に購入し急いで読破しました。本の帯には「“輸送船の墓場”と称され、10万を超える日本兵が犠牲になったとき

れる台湾とフィリピンの中の[パシー海峡]。アンパンマンの作者である、やなせたかしの弟もその一人だ。その“魔の海峡”から12日間の漂流を経て奇跡の生還を遂げた若者がいた。・・・「生」と「死」のはざまに揺れ、自己犠牲を貫いた大正生まれの男たち。今、明かされる運命の物語とは—。」と、書かれています。

本の内容もさることながら(是非、ご購入ください)、「毅然と生きた日本人像を書き続ける」との第一声の後に続いた強烈なお話には胸を打たれました。少し印象に残った点を述べます。

先の戦争では、民間人を含めて300万人以上が亡くなったと言われています。その中でも大正生まれの人たちが一番多かったようです。大正元年から14年生まれは、昭和20年の終戦時19才から33才の男子(約1340万人)であり、戦死・戦病死数は200万人と言われ、何と7人に1人の男子が亡くなったとされています。すなわち、大東亜戦争(太平洋戦争)は大正生まれの若者を中心に戦われたのです。明治の親たちに「恥を知りなさい」と、厳しく育てられた大正世代は世界最強の男達だったのでしょうか。

私の父も、大正5年生まれ。陸軍憲兵として10年間奉職し、フィリピンでの2年間の戦争刑務所を経て奇跡的に無事生還しました。命からがら生き残ったのでしょうか。余生は、亡くなった戦友の弔いと軍恩関係の奉仕に専念していました。柔道5段のがっちりした父親でしたが、温和で優しく竹を割ったようなさっぱりした性格でした。「人を泣かすなよ。困った人がいたら助けてやれ。間違った恥ずかしいことはするな。」と、時折諭されました。敗戦国日本の復興も、生き残った大正生まれの先輩たちが、亡き戦友の無念を胸に、戦後もがむしゃらに働き続けてくれたのです。

日本は恥の文化。欧米はキリスト教から来る罪(懺悔)の文化。現代に生きる私たちは、自分の親や祖先が生き抜いた歴史を正しく学び、日本人としての誇りとプライドをしっかりと持っていたと思います。国も企業も過去の苦難の歩みを充分認識し、次世代へより良い状態でバトンを繋ぎたいと願っています。

厳しい難しい時代ですが、自分に与えられた責任と使命を自覚し果敢にチャレンジして参りましょう。加盟店経営者である私達の役割は、皆で学び合い心と力を合わせて強くなやかなダスキンを創り育て、100年続く企業へと進化させていく事です。

ありがとうございました。 合掌

* 新居浜支店の皆さまへ

急に、朝晩冷え込んで来ましたね。11月に入り、今年も早2ヶ月を切りました。あつと言う間の1年です。

キレイボックスにまとめ買い等、精力的に取り組んでいただきありがとうございます。統一活動(ペア)やお試し祭りでも、よく動いて下さり成果が上がっています。ただ全体で純増プラスにまでは達していないので、個人でマイナスの方は、マネジャーさんに相談して応援に入ってもらってください。常に純増を意識して、減ったら増やす、増えたら維持する。体重とは反対に、逆に気を付けてください。これから年末に掛けての大掃除シーズンは、ベーシック3が大活躍します。毎日、朝一モップ、集めたホコリをスタイルクリーナーがサッと吸い取り、重い掃除機いらず。棚や壁面のホコリはシュシュにお任せ。網戸やサッシも普段から軽く拭いておくと、大掃除も慌てず楽に済みます。トイレやキッチン、バスも、使う度にサッと汚れを落としておきましょう。それでは！ 合掌